

令和2年度 第1回坂町総合教育会議録（会議概要）

- | | | |
|--------|---|---------------|
| 1 日 時 | 令和2年6月16日（火） | 10時45分～11時50分 |
| 2 場 所 | 坂町役場 研修室 | |
| 3 出席委員 | 吉田隆行町長・太田耕樹教育長・松村英勝教育委員
埜本友造教育委員・平沖純子教育委員・向井智恵教育委員 | |
| 4 出席職員 | 中村総務部長・新谷教育次長
藤原学校教育課長・福嶋生涯学習課長・福富学校教育課主幹 | |

<会議概要>

1. 開会宣言（中村総務部長）

2. 吉田町長あいさつ

（吉田町長）

第1回坂町総合教育会議では、4つの議題で行っていく。新型コロナウイルス感染症対策が今後ますます必要となってくる。学校も3か月間臨時休業を行っていた。6月1日から学校を再開することができた。学校・保護者・地域が一体となって気を引き締めて対策を行っていくことが子どもたちを守っていくこととなる。今後も取り組んでいきたい。

3. 「令和2年度坂町教育に関する大綱（案）」について

- ・新谷教育次長より概要説明

4. 「児童生徒の安全確保」について

- ・福富学校教育課主幹より概要説明

（吉田町長）

児童生徒が多い学校は、間隔をとることが難しいことが分かった。

（福富学校教育課主幹）

低学年の児童にとっては、2mなどの量の感覚は難しいので各学校工夫しながら取り組んでいる。2m=200cmなど算数と関係付けるなど工夫している。

（吉田町長）

学校の新しい生活様式に沿って教育活動を進めていくことは大切だが、子どもたちにとってストレスとなる。子どもたちの心のケアも必要。

（松村英勝教育委員）

朝の健康観察は今までなかったのだが、各家庭で行われる検温はとても大切な取組である。孫も自分で検温する習慣がついてきている。

(吉田町長)

ワンタッチの体温計をクラスに一つ以上は準備する予定。さらに、学校ごとにプラスαで用意を進めている。問診票については、家庭で記入し、学校にてチェックを行うのか。

(福富学校教育課主幹)

家庭で、熱や頭痛などをチェックし、記入して持参する。校庭にて記入を確認し熱がなければ教室に入り、提出する流れになっている。

(埴本友造教育委員)

自宅の前を毎朝 150 人程度通学している。普段は 7 時 20 分過ぎると賑やかだが、6 月に入っては、静かに並んで登校することができている。距離を保つ、大声を出さないなど子どもたちがしっかりと守っている。学校の先生方の指導が徹底されていて感心している。

(平沖純子教育委員)

臨時休業が長引き、子どもの学習の遅れを心配していた。中学校の子どもたちと接する機会が多いのだが、学校の先生方がとても細かくプリントを用意して家庭学習でも学習が途切れないように配慮してくださった。復習と予習のバランスをとり学校が再開しても子どもたちが困らないように工夫されていた。どの教科も工夫があり、家庭科の手作りマスク、英語や数学の学習プリント、学校での学習と同様の中味で子どもたちが自主的に学ぶ力が育成できたように思う。学校の先生の努力が伺え感心した。

(向井智恵教育委員)

学校の再開にあたって、地域の方や保護者が数多く登下校を見守ってくださっている。新しい学校の生活様式になったけど、多くの方の支えがあり本当に感謝している。

(吉田町長)

今後も、地域が一体となって子どもを守っていけるといい。多くの方々に感謝している。

5. 「教育環境の整備等」について

- ・ 藤原学校教育課長より概要説明
- ・ 福嶋生涯学習課長より概要説明

(吉田町長)

I C T環境について、国の支援が全体の十数%程度と少ない。教育の情報化は進めていく必要があるが、タブレット等は5、6年したら日進月歩で発展していく。そのときにまた、2億円程度必要となる。世の中の進歩に対応していくためには必要な事業。学習支援ソフトや著作権問題についても配慮している。今後は財政面についても計画的に進めていく必要がある。学校現場でもしっかりと活用して子どもたちの学習を深め、活かしていただきたい。

6. その他

(吉田町長)

中学校の部活動はどのように取り組んでいるのか。

(太田教育長)

種目によっては、制限した形となるが、それぞれの部活動を再開している。

(吉田町長)

中学校はこれからだが、小学校は運動会が中止となった。様々な学校行事は今後どうしていくのか。

(藤原学校教育課長)

行事については、子どもたちの活躍の場を設ける観点と、学習面の遅れをとり戻す観点とのバランスを考えながら進めていく。運動会については中止したが、2学期以降実施可能な形を検討中。中学校の体育祭は、通常通りにはできない。3密を防ぐのが難しい騎馬戦等は実施できないと思われる。どの種目なら実施可能かを検討中。何らかの形で実施したいと考えている。

(吉田町長)

授業時数は今後取り戻せるのか。

(藤原学校教育課長)

夏休みに補填を行い行事の精選を行うことで、今後臨時休業がなければ授業時数を回復できる。子どもたちに個別に対応しながら、学習内容の定着を図りたい。

(吉田町長)

他県では土曜日に学校を実施している地域があるが、坂町はどのように考えているか。

(太田教育長)

土曜日の学校実施は考えていない。夏休みに補填することで授業時数を確保することができる。中学校の体育祭については、DVDに撮影し保護者へ公開するなどの工夫も考えている。学習発表会については、室内となるので難しさが予想される。小屋浦小学校については、小規模なので何らかの形で実施することを検討中。いろいろな工夫を行っていききたい。

6. 閉会宣言 (中村総務部長)